

( 数学 ) 科 ( 数学Ⅱ ) 学 習 指 導 案					
実施日	令和5年6月20日(火) 2時限			指導者	森脇 由衣
学 級	2年 6組	教 室	206 教室	教科書	新編 数学Ⅱ(数研出版)
単 元	第4章 三角関数		内容のまとめり	三角関数	
単元の目標	1 三角関数について基本的な概念や法則について理解する。 2 三角関数の考え方を活用して事象を考察し、適切に表現する力を身に付ける。 3 問題解決に三角関数の考え方を活用するよさを認識し、積極的にそれらを活用しようとする態度を身に付ける。		指導計画	第1節 三角関数・・・・・・・・・・8時間 (本時は8時間目) 第2節 加法定理・・・・・・・・・・8時間 補充問題・・・・・・・・・・2時間	
単元の評価規準	知識・技能	○角を拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解している。 ○グラフの特徴や相互関係などの基本的な性質について理解している。 ○加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解し、活用できる。			
	思考・判断・表現	○三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 ○事象を数学的に捉え、三角関数を問題解決に活用することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	○問題解決に三角関数の考えそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。 ○問題解決の過程を振り返り考察を深めたり、改善したりしようとしている。			

本時の指導

主題(教材)	三角関数を含む方程式・不等式				
前時の課題	課題プリント①を解く。				
本時の目標	座標平面における領域の考え方をを用いて三角関数を含む方程式や不等式を解くことで、三角関数の式を多面的に考察する。				
評価規準	領域の考え方を活用して課題を粘り強く考察し、数学的論拠に基づいて三角関数を含む方程式・不等式を解こうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)				
指 導 過 程	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項	評価方法・資料等	
	指 入	1 基本的な三角関数を含む方程式を解く。	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角関数を x や y に置き換えて、方程式を解く方法を確認させる。</li> <li>本時の目標を確認させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコン</li> <li>プロジェクタ</li> <li>課題プリント①</li> </ul>
		2 課題を確認する。	7		
	展 開	1 問1の方程式を解く。 ＜個人→グループ→全体＞	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>座標平面における不等式の表す領域と三角関数を含む不等式の解の関係について考えさせる。</li> <li>直線のグラフと単位円との共有点を求めることで、2種類の三角関数を含む方程式の解法を導かせる。</li> <li>2種類の三角関数を含む方程式の解答を活用し、不等式の解法について考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題プリント②</li> <li>【評価方法(主体的に学習に取り組む態度)】</li> <li>○ワークシート</li> <li>○生徒観察</li> </ul>
		2 問2の不等式を解く。 ＜個人→グループ→全体＞	15		
整 理	本時の復習をし、振り返りを行う。＜個人＞	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の解法の注意点を説明し、加法定理や三角関数の合成の学習へつなげる。</li> <li>次回の課題を提示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題プリント③</li> <li>振り返りシート</li> </ul>	
備 考	生徒数 29名				

